

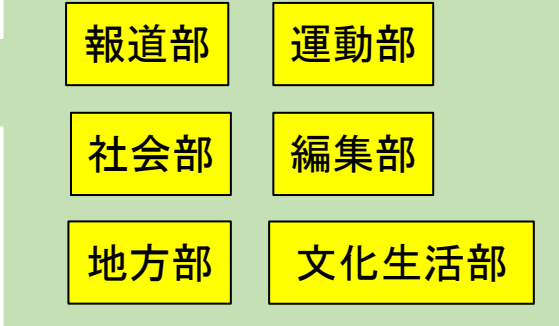
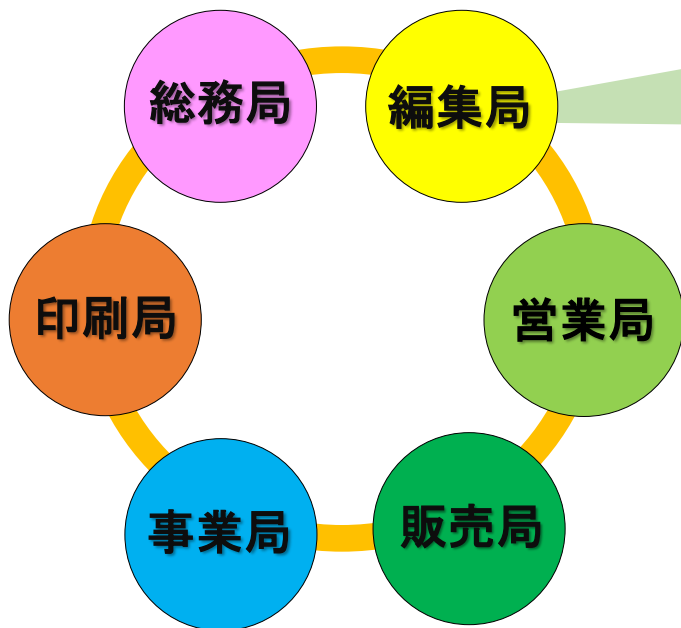
# 新聞社の仕事と働く人の姿

～研修から社会で求められる人材を考える～



# 1 新聞社の仕事

## ◇ 新聞社にはこんな仕事がある



### 主な業務内容

- 〔編集部〕 記者が紙面を作成、構成する
- 〔営業局〕 広告の企画や企業との契約を行う
- 〔販売局〕 小売店と部数の調整を行う
- 〔事業局〕 イベントや出版、資材準備などを行う
- 〔印刷局〕 紙面を印刷をする
- 〔総務局〕 人事や給与関係の仕事を行う

## ◇ 編集局のある日の仕事

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
報道部 (経済)	入社	*取材先の下調べや、数日かけて書いている記事を仕上げる *取材のポイントや書いた記事について話し合う *取材をする *他社の記事をチェックする					明日の準備	退社						
運動部	入社		*取材のポイントを絞る *選手や関係者の取材をする *インタビューをする		記事作成		記事の読み合わせ	印刷の確認		退社				
編集部 (内勤)	入社					*記事の見出しを考える *レイアウトを考える *読み合わせを行う					印刷の確認	明日の準備	退社	

※ 部によって勤務時間や働き方が様々である  
 ※ 編集部(内勤)は紙面の最終構成を行うため夕方から出勤する

※ 記事を掲載する面によって締め切り時間が異なる  
 ※ 日付が変わる頃には印刷局にデータを送る

## ◇ 新聞記者の七つ道具



メモ帳



腕章



パソコン



ペン



ボイスレコーダ



カメラ



携帯電話

取材では、メモを取り、カメラで写真撮影を行う。  
 議会や講演会では、ボイスレコーダを使うなど、道具を使いこなす。

# 2 新聞ができるまで

## (1) 事前準備



対象者の経歴や受賞作品、過去の記事をチェックし、質問することを事前にピックアップしておく。

例：夏の高校野球

- ①秋、春の戦歴
- ②チームの特徴(投手、4番打者など)
- ③学校のホームページや過去記事での選手の情報

## (2) 取材



多くの情報

- ・あいさつ
- ・名刺交換
- ・服装

### インタビューのポイント

事前準備、熱意、臨機応変な対応が大切

新聞記者は様々な人と接してたくさんの情報を得ることが仕事の基本になる。あいさつや名刺交換、服装など社会人としての基本的なマナーが大切になる。

取材や写真を撮影する瞬間は時間が限られているので、タイミングが難しい。また、機材を臨機応変に使いこなす。  
できるだけ多くの情報を得るために、積極的に動く必要がある。

### 取材のタイミング

機材の使い方

積極的に動く

### オープン クエスチョン

多様な答えが出てくる質問  
例 ①旅行でどんな思い出がありますか？  
②北海道はどんなイメージですか？

### クローズド クエスチョン

「はい」「いいえ」で終わってしまう質問  
例 ①旅行は好きですか？  
②北海道に行ったことがありますか？

取材では、うなずいたり、あいづちをうつなど、相手に関心を示したり、相手の言葉を繰り返すなどして、理解を伝える。情報の量と質を深めるためにはオープンクエスチョンなどの方法を工夫している。

## (3) 記事作成



何度も質問し合う

作成した  
記事

他の記者やチーフ、  
デスク等の意見

### 文章で伝えるポイント

相手のことを考えた伝え方が大切

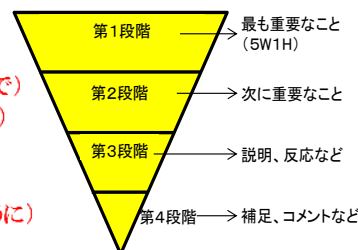
記事のポイントや表現などを他の記者やデスク等に相談する。そのためコミュニケーションがとても大切である。  
金額や記録、名前等は二人で「読み合わせ」をして何度も確認する。

記事の書き方にはルールがある。重要な情報からポイントをわかりやすく書き、主観的ではなく、客観的な文章で伝えることが大切である。

見出しでインパクトを与え、リード文(前文)を読むと記事の概要が分かるようになっている。記事の表現はできるだけ簡単にすることも大切である。

5W1H

- W... When(いつ)
- W... Where(どこで)
- W... Who(だれが)
- W... What(何を)
- W... Why(なぜ)
- H... How(どのように)



## (4) 印刷

## ● 企業が求める人とは

- ①群馬県の将来について熱く考えられる人
- ②指示待ちでなく、自分自身で動ける人
- ③自らを向上させていく意欲と姿勢を持った人
- ④コミュニケーションがしっかりとれる人



高校野球のスタンド

## 新聞社社員が語る「学生時代に一番力を入れたこと」は...

- 友人とのコミュニケーション。(外勤記者30代女性)
- 読書、映画、宝塚など。勉強もしっかりとしていた。(営業部50代女性)
- 部活動を頑張っていた。(外勤記者20代男性)
- 部活動。コーラス部だった。自分の考えをもって行動するようにしていた。(営業部30代女性)
- 授業で積極的に発言したり、前向きに取り組む姿勢が役に立っている。(販売部40代女性)
- 天声人語を要約することを頑張った。(内勤記者30代女性)

## 新聞記者が語る「新聞社で働く魅力」とは...

- 自分が書いた記事で世の中の人を喜ばせることができる。(記者20代女性)
- 地域の多くの方と接する機会が多く、その人たちの声を記事にできる。(記者50代 男性)
- 群馬県に貢献できる。問題の解消に一役買えたと感じる。(記者40代 女性)
- 最前線のニュースに触れ、事件現場や感動できる場面に身を置くことができる。(記者30代男性)
- 自分の記事が掲載されたときの感動がある。(記者20代女性)
- 政治家・社長・スポーツなど各界で活躍している人物の話が聴くことができる。(記者20代男性)



## 企業が行う社会貢献・地域貢献活動

### 記事



地元紙として県内 関連のニュースを最優先した紙面構成。広告媒体としても広く活躍する。

### イベント



ぐんま県民マラソンや群馬イノベーションアワードなどの主催や、文化・スポーツ事業等の共催、後援を行う。

### 出版



群馬の魅力を伝える多彩な出版物を取り扱う。

## 研修先紹介

### 株式会社 上毛新聞社

- (1)所在地：群馬県前橋市古市町一丁目50番地21号  
 〈総局〉東毛総局(太田)  
 〈支社〉高崎・東京(報道、営業部門)・大阪(営業部門のみ)  
 〈支局〉前橋、桐生、伊勢崎、太田、沼田、館林、渋川、藤岡、富岡、安中、わたらせ(みどり)、中之条、大泉
- (2)創立年： 1887年
- (3)資本金： 3,648万円
- (4)従業員数：27年度末 384人(男287人・女97人)
- (5)28年度採用実績：大卒 9人(男5人 女4人)



上毛新聞社本社(前橋市古市町)